



# 気候変動適応研究推進プログラム 「東北地域のヤマセと冬季モンスーン の先進的ダウンスケール研究」に よる再解析ダウンスケーリングデータ

## 1. 識別情報

名称	気候変動適応研究推進プログラム「東北地域のヤマセと冬季モンスーンの先進的ダウンスケール研究」による再解析ダウンスケーリングデータ
メタデータID	RECCA_DS_Tohoku20230727073744-DIAS20221121113753-ja

## 2. 問合せ先

### 2.1 データセットに関する問合せ先

名前	岩崎俊樹
組織名	東北大学大学院理学研究科
住所	日本, 980-8578, 宮城県, 仙台市, 青葉区荒巻字青葉6番3号
電話番号	022-795-5785
電子メールアドレス	iwasaki@wind.gp.tohoku.ac.jp

### 2.2 プロジェクトに関する問合せ先

#### 2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

## 3. ドキュメント作成者

名前	島田照久
組織名	東北大学大学院理学研究科
電子メールアドレス	shimada@ocean.caos.tohoku.ac.jp

## 4. データ作成者

名前	島田照久
----	------

---

組織名	東北大学大学院理学研究科
電子メールアドレス	shimada@ocean.caos.tohoku.ac.jp

## 5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

## 6. データ作成年月日

creation : 2013-04-01

## 7. データセット概要

### 7.1 序論

再解析データJRA-25/JCDASから、北日本について水平格子間隔10kmにダウンスケーリングしたデータ

### 7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

### 7.3 時間情報

開始日	1979-05-28
終了日	2011-08-31
時間分解能	Hourly

### 7.4 地理的範囲

北限緯度	46.6077
西限経度	135.552
東限経度	147.723
南限緯度	35.6394

### 7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
row	91	10 (km)
column	117	10 (km)

### 7.6 地理情報を識別する名称

### 7.7 キーワード

#### 7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Atmosphere	GCMD_science
theme	Models	GCMD_platform
theme	Climate	GEOSS

## 7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

### 7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS &gt; Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

## 7.8 データセットに関するオンライン情報

気候変動適応研究推進プログラム「東北地域のヤマセと冬季モンスーンの先進的ダウンスケール研究」のホームページ：<http://wind.gp.tohoku.ac.jp/yamase/top.html>

## 7.9 データ周辺情報

### 7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
データ提供者との個別交渉	1	

## 8. 系譜情報

### 8.1 データ処理 (1)

#### 8.1.1 データセット作成に関する加工過程や履歴の説明

モデル：気象庁非静力学モデル JMA-NHM (Saito et al. 2007)

境界条件：JRA-25/JCDAS (Onogi et al 2007), NOAA-OISST v2 (Reynolds et al. 2007), COBE SST (Ishii et al. 2005)

#### 8.1.2 元データの情報

データ起源の引用名	加工するデータ起源の説明

## 9. 品質等

## 10. 利用規約

### 10.1 データ提供者によるデータ利用規約

データ提供と利用に関しては、データ提供者との個別交渉による。

---

## 10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

### 10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

## 11. ライセンス

## 12. 謝辞の記載方法

### 12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

このデータセットは、「気候変動適応研究推進プログラム(RECCA)」の「東北地域のヤマセと冬季モンスーンの先進的ダウンスケール研究」より提供された。

### 12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

#### 12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上発表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

## 13. 参考文献

島田照久、沢田雅洋、吉田龍平、岩崎俊樹、気候モデルデータのダウンスケーリングによるヤマセの将来変化、SENAC, 47(2), 59-66, 2014.

島田照久、沢田雅洋、岩崎俊樹、ヤマセ研究のための再解析・気候モデルデータのダウンスケーリング、SENAC, 46(1), 9-15, 2013.